

県民まちなみ緑化事業（第4期）評価・検証の進め方

参考資料1
(第1回小委員会資料)

事業の実態把握・調査

- 資料2-1・2-2
 - 事業実績（年度別・地域別・緑化手法別）
 - ・補助件数、事業費
 - ・緑化面積、芝生化面積、植樹本数等
 - 現地事例調査
- 事業によって創出された緑の効果に関する県民の感じ方【実感アンケート】 資料3
- 事業箇所の緑の生育状況【生育状況調査】 資料2-3
- 事業への満足度、要望等【事業実施者アンケート、ヒアリング】 資料3

事業効果の検証

緑の効果を以下のとおり分類した上で、二つの方法・視点から効果を検証
 評価①：客観的データ、事例、文献・知見等に基づく評価
 評価②：県民の実感や感覚に基づく評価

緑が本来持つ公益的な効果

環境効果	ヒートアイランド現象緩和
	二酸化炭素低減
	その他（防塵、騒音低減等）
景観効果	景観向上
防災効果	都市型水害発生リスク低減
	樹木による延焼防止

緑や緑化活動による波及的な効果

環境学習効果
教育環境向上効果
コミュニティ形成効果
心理的效果
その他（生物多様性確保、健康増進等）

費用対効果の算出 「公益的な効果」については、別途、効果額を算出（※）し、投資額（事業費）に対する費用対効果の面からも評価
 ※文献・知見等に基づく算定式を用いて算出

緑に関する県民意識・社会状況調査

- 緑に関する県民の意識・ニーズ【県民WEBアンケート】※R5実施
 【県民モニター調査】 資料1-2
- 緑を取り巻く近年の社会状況
 - ・人口減少・高齢化
 - ・環境意識の高まり（SDGsの浸透）
 - ・カーボンニュートラル
 - ・気候変動（台風、豪雨、猛暑）
 - ・官民連携
 - ・法制度の改正
 - ・都市緑化のトレンド 等

課題の整理・次期事業展開に向けた検討

資料2-4

反映

県民まちなみ緑化事業・ひょうご花緑創造プラン